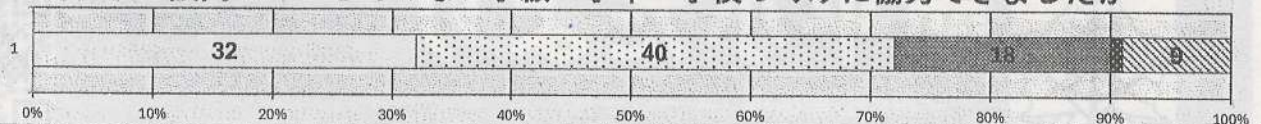
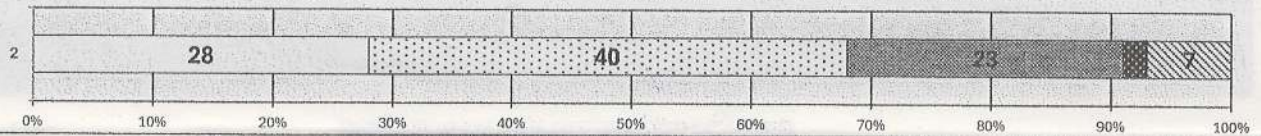


勉強や生活についてのアンケート(児童)

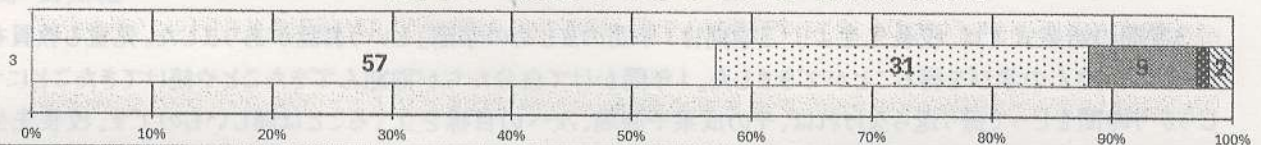
設問1：いじめのない学級・学年・学校づくりに協力できましたか



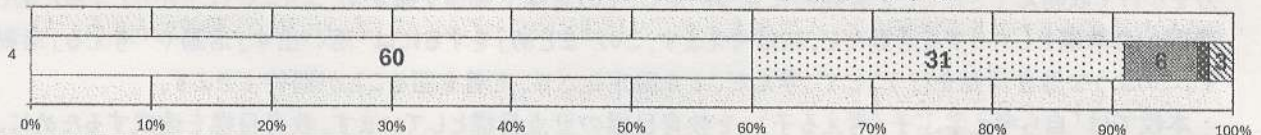
設問2：学級・学年・学校の中で活やくできましたか



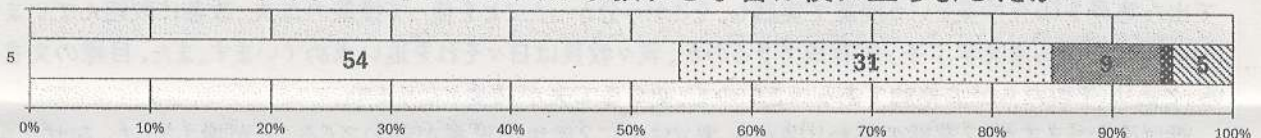
設問3：授業でできることが増えましたか



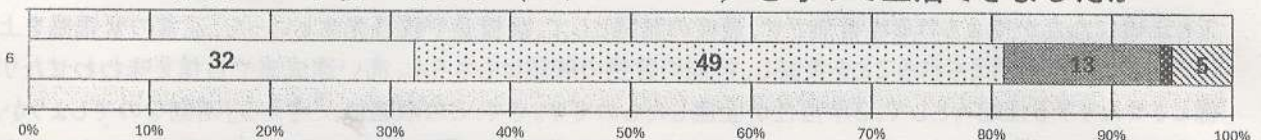
設問4：学校の授業は分かりやすいですか



設問5：地いきの人から教わる学習は役に立ちましたか



設問6：学校のきまり（セブンルール）を守って生活できましたか



☐ よく当てはまる ☐ ほぼ当てはまる ☐ あまり当てはまらない
☒ まったく当てはまらない ☒ よく分からない

設問1 肯定的評価が72%、肯定的でない評価が19%となっています。この項目では、肯定的評価が100%であることが重要であると考えています。「一人を大切に、みんなを大切にする学校」を合言葉に今後も児童一人一人がいじめのない学校を作るという意識を高めてまいります。また、来年度は、年間3回のいじめアンケートに加え、2か月に1回児童に生活に関するアンケートを実施する予定であります。これにより、いじめ等の早期発見・早期解決を図ってまいります。

設問2 肯定的評価が68%で、他の設問より低い数値となっています。学校では、運動会や学習発表会などの大型行事をはじめ、教室での学習や特別活動、係活動、集会、校外学習、遠足等においても、子供たちの活躍の場を意図的に設けております。今後は、教師が子供たちの頑張りを認める声掛けをより一層行うなど、児童が「自分は活躍することができた」と感じられるように取組を進めてまいります。

設問3・4 肯定的評価がおおよそ90%となっています。学校では分かりやすい授業作りに向けて2つの取組をしています。1つは、授業で自力解決や友達との意見交流で学びを深める活動を取り入れていく問題解決型の授業スタイルの実施です。もう1つは、算数の授業において問題文を読み解く読解力を高め、正しく立式できる力を高めることです。今後も、この2点の取組をすすめ、児童にとって「できた！分かった！」がいっぱいの授業づくりを進めてまいります。

設問5 肯定的評価が85%でした。浅川探検、短歌教室、琴教室、菊の学習、稲作の学習、昔遊び、税の学習など、各学年とも地域の方から学ぶ機会を豊富にいただいています。今年度は、新たにマラソン教室を実施しました。外部講師による授業は子供たちにとって生きる力を身に付ける貴重な機会となっています。また体験的な学習は児童の興味・関心を高め、子供たちにとって楽しい学習ですので、引き続きこのような機会を設けていきます。

設問6 肯定的評価が81%でした。本校の特徴は、児童が自分たちの考えを基に決めた7つの生活のきまり「南平小セブンルール」があることです。今後は、代表委員会が中心となりセブンルール集会を実施し、全校児童のこの決まりを守ろうという気持ちを高めてまいります。丁寧な言葉遣いに関しては、教員が手本となる言葉遣いを行うことで、子供たちも友達を思いやった言葉をかける場面が増えてきました。